

日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

【ビデオレビューをしました】

地域医療学講座/総合診療科 今岡 慎太郎

この前、外来診察のビデオレビューを行いました。ビデオレビューとは患者さんの同意を得た上で、私が行っている外来診察の様子を撮影しながら控え室にいる医学生がリアルタイムで見学し、振り返り際には録画した診察の動画を私と学生で改めて鑑賞するというものです。本来なら実習に訪れた学生に直接診察にチャレンジしてほしいところですが、新型コロナウイルスの流行状況に応じて学生の実習内容に制限が生じるため、遠隔実習の一環で実施しました。要点で一時停止できますし、学生の感想や質問を受けた上でそのポイントとなる局面まで巻き戻して視聴し、そしてまた考える・・・など活用の仕方が様々にあるものだと思います。追加で質問した方が良いことを訊ねると意見が返ってきて、なるほどと思うこともしばしばありました。自分の仕事を録画して後で鑑賞する経験は初めてでした。改善できる点がまだまだあると感じ、私自身にとっても勉強になった取り組みでした。



【くろさか春夏秋冬セミナー《秋》地区視診を行いました】

地域医療学講座/総合診療科 紙本 美菜子

11月15日に、鳥大医学部医学科1名、保健学科8名、YMCA米子医療福祉専門学校作業療法士科3名の学生さんと一緒に、秋の黒坂地区視診を実施しました。幸い天候に恵まれ、秋の美しい黒坂地区の自然を感じることができました。「気になったところの写真を撮る」「出会った人には必ず声をかける」をルールとし、某公共放送のTV番組方式を意識し、学生さんたちは非常に積極的に活動しました。

学生の視点からは、高齢化・人口減少で農業の後継者不足や医療機関へのアクセスの困難さなどさまざまな課題はあるが、住民さん同士のつながりや穏やかさという魅力があるという気づきがありました。新型コロナウイルス感染症流行で授業や実習に制限がある中でも、ただ前向きに、地域に貢献できる医療者となろうとする学生さんたちと住民さんたちはどこか共鳴するところがあるのかもしれない。学生のうちは周りの人に黒坂地区の魅力を伝えていきたい、将来は地域に出向き住民さんと交流しながら医療をしたいなどの感想が多くありました。

今後も「自分たちに、今、できることは何か？」を考えながら活動していきたいと思います。ご協力いただいた住民のみなさん、本当にありがとうございました。

